

町田市大賀藕絲館並びに町田市美術工芸館のサービス形態の就労継続支援B型に併せ、生活介護型が併設されるよう変更を求める請願

私たちの施設では利用者の高齢化が進んでいます。

生活介護型も併設して利用者の現状に合った支援や報酬が必要であるとして、障がい福祉課に生活介護型を併設する保護者の要望書を提出しました。また、法人の職員さんが障がい福祉課に生活介護型併設についての法人内の検討会の中間報告書を提出し、生活介護型併設についての話し合いを行なってきましたが、大賀藕絲館と美術工芸館は指定管理者制度下で町田市の条例や協定書等により決まっている就労継続支援B型のサービスを提供し、高齢化などにより生活介護型に該当するようになった利用者は生活介護型のサービスを提供している施設に移ればよいという考え方を障がい福祉課に変えていただくことはできませんでした。

障がい者は健常者より老化が早いと言われており、大賀藕絲館と美術工芸館の利用者の多くは、早くも生活介護型に該当するようになっていきます。

生活介護型を設置している他施設に大賀藕絲館と美術工芸館の多くの利用者を受け入れる人数的な余裕など現実にはなく、他施設の利用者の高齢化による状況も同じです。

高齢化した利用者に対し他施設への移動など考えることなく、食事支援ではきざみ食・ペースト食・とろみをつけるなど食事介助だけでなくきめ細かい支援をしていただいております、トイレ・移動などの介助はもちろんのこと、高齢化により他の利用者と同じ行動がとれなくなった利用者一人ひとりに合った個別の支援など、職員さんの真摯な利用者への支援を知るにつけ、利用者も気に入っている施設に長く通所できるサービスの形態として生活介護型の併設を考えていただきたいと強く思いました。

法人や職員さんの熱心な福祉への使命感で高齢化した利用者に対して行なっている手厚い支援も、それに見合うサービス形態や報酬が無ければいつまでも続けられるものではありません。

利用者のためはもちろん、職員さんの利用者への熱心な対応を親としては非常にありがたく思い感謝しておりますが、これからもこれらの支援を続けられるためにサービス形態を変更して、報酬や医療的な面でも充実させていただきたいと願います。

就労継続支援B型と生活介護型を併設することで、就労継続支援B型で入った利用者にもやがて確実に訪れる高齢化に対応し、利用者が長く慣れ親しんだ施設で過ごせるようお願い致します。

障がい者に働く場を設け働く意欲と喜びを育むという大賀藕絲館並びに美術工芸館の創立当初の理念は大変素晴らしいものですが、創立当初の理念は生かしながらも高齢化した利用者に合わせてサービス形態を考えていかなければならない時期に来ています。

利用者の現状をよくご理解いただき、生活介護型を併設して頂けますように、お願い申し上げます。